

第2類医薬品

270錠

当帰芍薬川芎山梔子連翹薄荷生姜荊芥防風

防風通聖散 貴秋薬

麻黄大黄芒硝白朮桔梗黄芩甘草石膏滑石

お腹の脂肪・ むくみ・便秘に

体力充実して、腹部に
皮下脂肪が多く、便秘がちな方に

防風通聖散エキス 2750mg

セルフメディケーション

税 控除 対象



4 954007 024131

ここからお切りください

ご使用前にこの袋の説明書を必ずお読みください

漢方製剤 第2類医薬品

開封後は、チャックをしっかりと閉めて保管してください

270錠30日分 ※成人(15歳以上)の場合

販売名: 防風通聖散 貴秋薬

△使用上の注意

してはいけないこと

(守らないと現在の症状が悪化したり、副作用が起こりやすくなる)

1. 本剤を服用している間は、次の医薬品を服用しないこと
他の瀉下薬(下剤)
2. 授乳中の方は本剤を服用しないが、本剤を服用する場合は授乳を避けること

相談すること

1. 次の人は服用前に医師、薬剤師又は登録販売者に相談すること
(1) 医師の治療を受けている人。
(2) 妊婦又は妊娠していると思われる人。
(3) 体の虚弱な人(体力の衰えている人、体の弱い人)。
(4) 胃腸が弱く下痢しやすい人。
(5) 発汗傾向の著しい人。
(6) 高齢者。
(7) 今までに薬などにより発疹・発赤、かゆみ等を起こしたことがある人。
(8) 次の症状のある人。
むくみ、排尿困難
- (9) 次の診断を受けた人。
高血圧、心臓病、腎臓病、甲状腺機能障害

2. 服用後、次の症状があらわれた場合は副作用の可能性があるので、直ちに服用を中止し、この袋を持って医師、薬剤師又は登録販売者に相談すること

関係部位	症状
皮膚	発疹・発赤、かゆみ
消化器	吐き気・嘔吐、食欲不振、胃部不快感、腹部膨満、はげしい腹痛を伴う下痢、腹痛
精神神経系	めまい
その他	発汗、動悸、むくみ、頭痛

まれに次の重篤な症状が起こることがある。その場合は直ちに医師の診療を受けること。

症状の名称	症状
間質性肺炎	階段を上ったり、少し無理をしたりすると息切れがする・息苦しくなる、空せき・発熱等がみられ、これらが急にあらわれたり、持続したりする。
偽アルドステロン症、ミオパシー	手足のだるさ、しびれ、つばり感やこわばりに加えて、脱力感、筋肉痛があらわれ、徐々に強くなる。
肝機能障害	発熱、かゆみ、発疹、黄疸(皮膚や白目が黄色くなる)、褐色尿、全身のたるさ、食欲不振等があらわれる。
関門膜動脈硬化症	長期服用により、腹痛、下痢、便秘、腹部膨満等が繰り返される。

3. 服用後、次の症状があらわれることがあるので、このような症状の持続又は増強が見られた場合には、服用を中止し、この袋を持って医師、薬剤師又は登録販売者に相談すること 下痢、便秘
4. 1ヵ月位(便秘に服用する場合には1週間位)服用しても症状がよくなる場合は服用を中止し、この袋を持って医師、薬剤師又は登録販売者に相談すること
5. 長期連用する場合には、医師、薬剤師又は登録販売者に相談すること

【効能・効果】体力充実して、腹部に皮下脂肪が多く、便秘がちなものの次の諸症: 高血圧や肥満に伴う動悸・肩こり・のぼせ・むくみ・便秘、蓄膿症(副鼻腔炎)、湿疹・皮膚炎、ふきでもの(にきび)、肥満症

【成分・分量】本剤は、1日量(9錠)中に防風通聖散エキス(1/2量)2750mg(トウキ・シャクヤク・センキュウ・サンシシ・レンギョウ・ハッカ・ケイガイ・ポウフウ・マオウ各0.6g、シウキョウ0.2g、ダイオウ0.75g、無水ポウショウ0.375g、ビャクシュツ・キキョウ・オウゴン・カンゾウ・セッコウ各1.0g、カッセキ1.5gより抽出)を含有する。
添加物: ステアリン酸Mg、タルク、無水ケイ酸、セルロース、ヒプロメロース、カラメル、酸化チタン、マクロゴール、カルナウバロウ

【保管及び取扱い上の注意】(1) 直射日光の当たらない湿気の少ない涼しい所にチャックをしっかりと閉めて保管すること。(2) 小児の手の届かない所に保管すること。(3) 他の容器に入れ替えないこと(誤用の原因になったり品質が変わる。)(4) ぬれた手で取り扱わないこと。水分が錠剤につくと、表面が一部溶けて変色又は色むらを生じることがある。また、ぬれた錠剤を袋に戻すと他の錠剤にも影響を与えるので戻さないこと。(5) 使用期限を過ぎた製品は服用しないこと。

〈発売元・お問い合わせ先〉
株式会社ファーマフーズ(お客様相談室)
京都市西京区御陵大原1番地4-9
携帯電話 0570-041-005
固定電話 0120-678-005
受付時間 9:00~17:45(GW・お盆・年末年始を除く)

〈製造販売元〉
明治薬品株式会社
富山県富山市三郷6番地

【用法・用量】次の量を1日3回食前又は食間に水又は白湯にて服用する。

年齢	1回量	1日服用回数
成人(15歳以上)	3錠	3回
5歳以上 15歳未満	2錠	
5歳未満	服用しない	

〈用法・用量に関連する注意〉5歳以上の小児に服用させる場合には、保護者の指導監督のもとに服用させること。

副作用被害救済制度 ☎0120-149-931

製造番号

使用期限